

清友

No. 67

2015年3月



六義園の枝垂桜

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

お花見ウォークは4月23日

第8回定期総会は5月21日

2月12日に第4回幹事会を開き、①お花見ウォークの日程、②第8回定期総会日程、③会費改定の考え方、④旅行と交流行事アンケート実施案などを確認しました。

■お花見ウォーク

今春の「お花見ウォーク」は野田市の「清水公園」です。清水公園といえはツツジ、桜の時期よりは混雑しないことを考慮し4月23日にしました。

今回は、「ウォーク」というほどには歩きません。公園内の金乗院境内とツツジ園、百花繚乱の「花ファンタジア」散策と、じっくり花を愛でたいという企画です。東武野田線「清水公園」駅に10時集合です。ご家族や友人・知人をさそつての参加を歓迎します。

■第8回定期総会

今年の定期総会は5月21日です。参加の案内は4月初めに送ります。総会議案は、①

活動方針、②旅費支給基準改正、③会計予算を予定しております。4月の幹事会に提案します。例年同様、総会終了後、懇親会をもちます。

■会費引上げ見送り

昨年の定期総会で、会費引上げの方向を提起し、1年間討議に付すことになりました。

会費引上げの最大の理由は「財政危機」でしたが、現役世代の厚意により、東京清掃の交付金が大幅に引き上げられたため、財政危機を理由にした会費引上げの必要性は薄れました。「改定を当分の間見合わせる」ことにします。

■アンケート調査

会主催の親睦・交流行事は、

4月23日、清水公園で満開のツツジに会えたらいいですね



3年半前に行った「アンケート」を基に企画しています。

しかし、親睦旅行の参加者が先細りしているなど、会員のニーズに对应していない面があると感じています。前回のアンケート以降に加入された会員が約半数という状況も踏まえ、改めてアンケートを実施することになりました。

アンケートの内容は、①親睦旅行について、②交流行事について、③新規事業についてです。面倒かとは思いますが、是非、ご協力ください。

清掃・人権交流会 江東区フィールドワーク

部落・清掃・朝鮮人差別が交錯する枝川地区の歴史と闘いに学ぶ

2月15日、清掃・人権交流会主催の江東区フィールドワークが、旧枝川清掃事業所跡地と通りを挟んだ場所にある東京朝鮮第二初級学校で行われ、東京清掃各支部、下請労組、学生、市民等約50名が参加しました。

校舎内で、①江東区の被差別部落の歴史と差別撤回の闘い、②江東区と清掃事業の関わり（会員の西田さん講師）、③枝川地区の形成と朝鮮学校の歴史と闘いの3つのお話し

を聞き、その後、東京朝鮮第二初級学校理事長宋賢進さんの案内で、枝川地区と学校の校舎内を視察しました。

日中戦争により幻に終わった東京オリンピックのため、在日朝鮮人が強制移住されたのが枝川地区の始まり。ごみ埋立地に隣接し、蠅が大量発生、雨が降ると水に浸かる劣悪な住環境の中、10畳一間のバラックに何家族も押し込められました。戦後、子供達に民族教育が必要と、手造りの校舎を建て、育ててきました。石原都政による嫌がらせの学校敷地返還命令訴訟にも勝利し、新しい校舎も建てられました。



お話し会場は東京朝鮮第二初級学校多目的室（講師は西田さん）



宋理事長から枝川地区の説明を聞く（後ろの建物は朝鮮初級学校校舎）

隣接する豊洲は商業施設と高層マンションが林立していますが、地区内のマンションには「枝川」の名称が使われないというように差別は根強く続いています。改めて、差別撤廃の闘いの重要さを痛感させられました。

「よってたかつて勝利まで」 労働争議の元凶経団連前で抗議集会

東京総行動は、「よってたかつて勝利まで」を合言葉に、首切りや不当行為と闘う争議支援の一日行動です。2月20日、春闘開始にあたり、労働争議の元凶・経団連前で抗議集会を行いました。



東京総行動・経団連前抗議集会

今年も、経団連は争議団の要請書を門前払い。争議当事者や支援団体が経団連の進める労働者敵視策を次々と批判し、経団連へ向かって怒りのシュプレヒコールを繰り返しました。

例え小さな行動でも、資本の不当行為に負けずに闘い続けることが大事です。

JALの不当解雇を撤回させるぞ！ 資本の御用機関最高裁を包囲し抗議

最高裁は、2月4日と5日、JAL（日本航空）不当解雇撤回の客室乗務員と乗員の訴訟を、棄却・不受理決定しました。JALの解雇事件は、人員削減に名を借りた労働組合潰しです。JAL職場では他社流出が止まらず、2千人も採用されたにも関わらず、わずか165名の解雇者を再採用しようとしません。最高裁は、JALの不法行為を支持したのです。

2月27日、資本の御用機関化した最高裁を包囲する抗議行動が取られました、約600名が参加し、抗議の声を上げました。



JAL 不当解雇抗議・最高裁包囲行動

現地で闘う鹿兒島と福島の女たちの 上京行動に連帯し全労協脱原発集会



2月4日、全労協は川内原発再稼働阻止のため緊急上京した鹿兒島と福島的女性たちに連帯して、日比谷図書館ホールで脱原発集会を

開きました。集会で報告された福島現地の苦しく厳しい闘いに胸が痛み、鹿兒島の再稼働ありきの姿勢に抗する闘いに勇気をもらい、改めて、脱原発の早期実現へ向けて頑張る決意を再確認できました。集会終了後、東電本店前で行われている抗議行動に合流し、すべての原発再稼働に反対の意思をアピールしました。

さあ、闘いはこれからだ！

「狭山事件の再審を求める東京集会」で決意新たに

2月25日、「狭山事件の再審を求める東京集会」が開催され、退職者会から5名参加しました。5年半続いている三者協議（裁判所・検察・弁護士）



で、検察は1月に東京高検保管の物的証拠のリストを示しました。証拠そのも

のが開示されたわけではありませんが、闘いの成果です。石川さんの無実を動かしがたいものにするため、引き続き、供述調書や捜査報告書等を含む全証拠の開示を求めて闘っていくとの報告がありました。一日も早く再審の扉を開き、石川さんの完全無罪をかちとるために闘う決意を、集会参加者の総意で確認しました。さあ、闘いはこれからです。

東京高齢・退職者連合全体学習会 平和のために何をすべきなのか

2月13日、東京高齢・退職者連合の全体学習会が田町交通ビルで開催されました。

「集団的自衛権と憲法」と題して講演した元外交官の孫崎さんは、「今、平和のために何をすべきかが問われている」と、次のことを話されました。「日本の報道の自由度は先進国中最低レベル。原発の情報



が流れない。米国防務省は『米軍が外国人救出のために軍事手段を使うことはありえない』ことを明らかにしている。安倍は平然とウソを言っているが、マスコミは重要な報道をしない。報道の自粛が甚だしく、戦前回帰と言える状態だ。今、国民は安倍政権に騙される道を歩んでいる。」

「読売は79年の社説で『尖閣を紛争の種にするな』と主張。尖閣の棚上げ合意を当時の外務省の担当者が証言している。安倍政権の尖閣に対する主張は、国際的には通用しない。」
「アメリカは、世界戦略として自衛隊の積極活用姿勢に変化しており、安倍の保守的思想と中国嫌悪は利用できると考えている。アメリカの対中戦略は日本利用にある。」
「国益とは国民が幸せになることだ。日中韓は憎しみ合うのではなく、協力することに全力を注ぐべきだ。」

東京清掃の継承と発展に向けて

組織を整備し、専従役員5人体制で司令塔の役割を強化

●東京清掃染書記長にインタビュー●

東京清掃は2月19日に臨時大会を開催し、「組織財政方針に基づく本部体制見直し」と「規約・規程等改正」を決定しました。新しい本部体制で東京清掃が目指すものは何か、染書記長にうかがいました。

昨年9月28日に開催した定期大会で、新たな組織財政方針を決めました。

組織財政方針の目的

清掃事業の区移管から15年、東京清掃は、社会的労働運動の強化を掲げて単一労組を選択し、各区交渉を束ね、「良質な公共サービスとしての清掃事業を守る」運動の中軸を担うことを存在意義としました。しかし、公務員を取巻く反動的情勢や当局の攻撃等により、清掃事業の現場の劣化が

著しい状況になっていきます。

新しい組織財政方針は、本部の司令塔としての役割を強化しようというものです。具体的には、①司令塔機能発揮のため、専門部を3つの局にまとめる、②区・一組選出の中央執行委員は区・一組交渉に純化する、③地連を本部機能の補完組織にすることです。若手役員を育成し、東京清掃が継承され発展していけるようにしたいと考えています。

専従役員5人体制へ

臨時大会で、3つの局の責任者を専従にし、専従役員5人体制にすることを決めました。そのため、先輩方が積み上げてきた犠牲者救済資金を活用します。犠牲者救済資金は現在約16億7千万円ありま



インタビューに答える
東京清掃・染書記長

す。専従役員5人体制で5年間運用すると、組合費収入不足の補填も含め約2億4千万円減少すると想定しています。5年後に専従体制の見直しも含めて再検討する予定です。犠牲者救済資金を使わせていただくことに、是非ご理解いただきたいと思えます。

新たな運動スタート

新たな体制へ移行するにあたり、区議会対策と市民運動との連携を強化するため、今年の組織集会(6月)は、各区の推薦議員をお招きし、清掃事業の在り方を議論したいと考えています。清掃事業の現状、良質な公共サービスの在り方をビジュアルで示すためのDVDも作ります。これからの私たちの運動を、暖かく見守っていただきたいと思えます。

退職者会活動日誌

- * 1月14日 第9回三役会
- ▼ 2月12日 第4回幹事会
- ▼ 1月14日、第9回三役会で旅行と行事アンケート、会費改訂、総会日程等検討。
- ▼ 同日、ホテルメトロポリタンエドモントで東京清掃旗開き。
- ▼ 1月22日の自治退都本部幹事会に小林事務局長(幹事)が参加。学習交流会の日程等決定。
- ▼ 1月25日、辺野古に基地はつくらせない! 国会包囲ヒューマンチェーンに4名参加。
- ▼ 1月26日、安倍政権の暴走反対! 国会前行動に4名参加。
- ▼ 1月31日、小石川後楽園涵徳亭にて「新春の集い」。
- 29名(会員26名、来賓3名)参加。
- ▼ 2月4日、川内原発再稼働阻止・原発いらない! アクシヨン行動&全労協脱原発集会に3名参加。
- ▼ 2月11日、憲法と建国記念の日を考える集いに2名参加。
- ▼ 2月12日に第10回三役会。幹事会提案議案確認。
- ▼ 同日、第4回幹事会。定期総会日程、会費改定、お花見ウォーク、旅行と行事アンケートを確認。
- ▼ 事務局会議・事務業務4回。

